

谷口市政スタート

市発足後4期目となる丹波市長選挙は、平成28年11月20日（日）投票が行われた結果、谷口進一氏が市長として当選を果たしました。任期は、平成32年12月4日までの4年間です。

「住みたい、帰りたい、トカイナカ。丹波市」をめざします

このたび、丹波市第2代市長として市政を担うことになりました。人口が減少し、行政運営のありようが問われる中、多くの市民の皆さまの期待と責任に身の引き締まる思いです。

地域経営の基本姿勢は「市内外との相互交流により経済活動が活発化するまちづくり」です。都会に近い田舎という地理的条件を生かし、都会と田舎の良さを併せもつまち「住みたい、帰りたい、トカイナカ。丹波市」をめざします。

そのため「若者に“希望”を、女性に活躍の場を、地域に“変革”を」の3つを政策実現の柱に、市政運営の基本姿勢をお伝えします。

1 新たな丹波市の創造
ここから10年丹波市を変えましょう!!

① 都会に近い田舎 丹波市ファン30%増作戦

京阪神からの恵まれた交通網を活用し、市の魅力を発信。さらなる交流人口の拡大をめざします。

(1)産業の振興(2)芸術・文化・スポーツによる地域振興(3)丹波市玄関口の振興(4)外国人観光客の対応など4点を積極的に取り組みます。

② 女性・若者活躍社会の実現
丹波市男女共同参画条例を制定し、活動拠点の整備や意識づけなどを行う時期と考えます。相談や

④ 人口減少下でのまちづくりの視点について

(1)遊休化する小学校施設などの利活用
施設の利活用の検討は、地域の意見を第一としつつ、民間企業の斬新な提案を求めてまいります。

(2)コミュニティ間の相互交流による「丹の合併の実現」
個性豊かな6つの地域を真珠にみたく「6個の真珠のネックレス」を提唱しました。1粒ずつ違う光沢を発する真珠のネックレスのように、市が一つの空間としてつながり、回遊できることが重要です。

また、25自治協議会の相互交流の仕組み、各地の行事・ユニークな取り組みの発信、交流発表会の開催などを提案します。

⑤ たんばの元気な教育

ふるさと創生の視点で(1)ふるさとに愛着と誇りをもった人づくり(2)教育環境の整備・充実(3)子育て環境の充実に力を傾注します。

2 合併15周年に向けて

平成31年は、合併15周年・新病院完成予定・丹波市豪雨災害から5年目にあたる年です。翌年には東京オリンピックを控え、市の総合力・底力を披露するチャンスです。魅力を市内外に広く発信する市民運動の展開を提案します。「丹の里」を舞台に地域内外の人が、ワクワク・ドキドキするようなキャンペーンやリレーイベントを展開。私たちが誇るべきものを「集め・磨き・つなぎ」広く発信し、一大ムーブメントを巻き起こしたいと考えております。

3 市政運営に対する基本姿勢

① 企業経営の視点
基礎自治体の市の役割・責務は一層広がり、民間のセンスとノウハウが必要であり「企業経営の視点」が不可欠です。顧客（市民）が真に求めるサービスを提供するための経営戦略「マーケティング」の感覚を

4 おわりに

人口減少や若者の雇用などの課題は、市の「伸びしろ」と捉えています。地域の特性を生かして、市民一人ひとりが幸せを実感できる「住みたい、帰りたい、トカイナカ。丹波市」をめざし、全力を傾注する覚悟でございます。

市民・議会・行政が一体となって、新しい丹波市を創ってまいりたいと考えておりますので、どうか温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。



丹波市長 谷口進一

昭和28年生まれ。柏原町挙田。元県職員。元株式会社夢舞台代表取締役社長。平成28年12月、第2代丹波市長に就任。無所属。好きな言葉は「段取り八分。仕事二分」「石にも目がある」。



訓示式で職員に語りかける谷口市長 氷上住民センターにて



初議会でのあいさつのようす

議会新体制 スタート

就任ごあいさつ

市民の視点で「開かれた議会へ」

丹波市議会議員 太田喜一郎



昭和 27 年生まれ。氷上町西中。
平成 16 年丹波市議会議員に当選し、現在 4 期目。無所属。

この度の 12 月定例会におきまして、丹波市議会議員に就任いたしました。身に余る光栄でありますと同時に、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、議員のみなさまのご協力をいただきながら、公正かつ円滑な議会運営に最善の努力を尽くしてまいりたいと考えております。

たいと考えています。
今回の選挙で、議会に対するみなさまの関心もさらに高まっていることと思います。議員一同、初心を忘れることなく常に緊張感を持ち続け、一つひとつの課題と向き合いながら、議会の活性化とさらなる議会改革、そして丹波市の発展をめざして活発な議論を展開してまいります。

さて、丹波市議会も 11 人の新人議員を迎え、第 4 期丹波市議会として新たなスタートを切りました。行政（市長）とともに二元代表制の一翼を担う市議会として、平成 24 年に制定いたしました「丹波市議会基本条例」に基づき行政のチェック機能を十分に果たすとともに、市民の視点に立った政策立案および政策提言により、みなさまの負託に答えられるよう誠心誠意取り組んでまいります。

また、より多くの市民のみなさまに市政に対する関心を持っていただくため、情報提供を積極的に行い、公平性と透明性の確保に努め、「開かれた議会づくり」をめざしてまいります。

最後になりましたが、市民のみなさまのなお一層のご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

市議会議員のみなさん

市議会議員 20 人が選出されました

丹波市の 4 期目となる市議会議員選挙が 11 月 20 日（日）に行われ、20 人の市議会議員が選出されました。

任期：平成 28 年 12 月 5 日～平成 32 年 12 月 4 日

掲載内容：議員氏名（敬称略）・年齢（12 月 20 日現在）・党派・当選回数・住所
* 50 音順

					
太田喜一郎 (64) 無所属 ④ 氷上町西中	大西ひろ美 (54) 無所属 ① 氷上町柿柴	小川庄策 (49) 日本共産党 ① 青垣町西戸田	奥村正行 (65) 無所属 ④ 氷上町石生	垣内廣明 (68) 無所属 ③ 山南町池谷	小橋昭彦 (51) 無所属 ① 春日町中山
					
近藤憲生 (55) 無所属 ① 春日町棚原	須原弥生 (54) 公明党 ① 市島町下竹田	谷水雄一 (39) 無所属 ① 氷上町賀茂	西本嘉宏 (69) 日本共産党 ④ 春日町東中	西脇秀隆 (66) 日本共産党 ② 山南町和田	林 時彦 (62) 無所属 ③ 春日町野上野
					
広田まゆみ (61) 無所属 ① 柏原町柏原	藤原 悟 (65) 公明党 ③ 山南町谷川	前川豊市 (70) 無所属 ④ 柏原町柏原	山名隆衛 (59) 無所属 ① 市島町市島	吉積 毅 (53) 無所属 ① 氷上町成松	渡辺秀幸 (64) 無所属 ① 市島町下竹田

議会の構成（議席順）

議 長		太田喜一郎	
副議長		前川 豊市	
総務常任委員会		民生常任委員会	
委員長	垣内廣明	委員長	西本嘉宏
副委員長	吉積 毅	副委員長	近藤憲生
委 員	谷水雄一 小橋昭彦 小川庄策 前川豊市 西脇秀隆	委 員	大西ひろ美 広田まゆみ 林 時彦 須原弥生
産業建設常任委員会		議会運営委員会	
委員長	藤原 悟	委員長	林 時彦
副委員長	太田一誠	副委員長	山名隆衛
委 員	山名隆衛 渡辺秀幸 大嶋恵子 奥村正行	委 員	小橋昭彦 大西ひろ美 藤原 悟 西本嘉宏 垣内廣明

*議長と副議長

議長は、議会を代表し、議場の秩序の保持や議事の整理などいろいろな権限が与えられています。

副議長は、議長が事故または欠けた場合に議長に代わって職務を行うなど、議長を補佐します。

*委員会

委員会は、本会議に提案された議案などを専門的に詳しく審査するために、少数の議員で構成される機関です。

委員会には、常時設置されている「常任委員会」（総務常任委員会、民生常任委員会、産業建設常任委員会）と「議会運営委員会」、必要なときに設置する「特別委員会」があります。